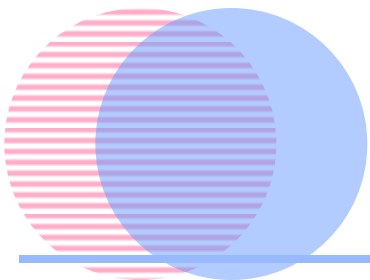


西部支部活動報告 ツタエルドボクCafé



杉田 幸浩

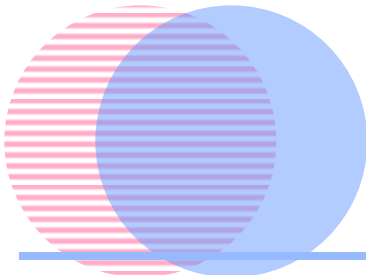
若手会員パワーアップ小委員会 西部支部委員
(西日本高速道路(株) 九州支社)



西部支部活動報告 ツタエルドボクCafé



1. イベントの内容は？
2. 開催したのはどんな人たちか？
3. 活動の原動力は何か？



1. イベントの内容は？



せん にゅう
《潜入せよ》
謎の地下神殿
いのちをまもる

小学生
50名
大募集!

参加無料

【開催日時】
平成27年3月14日(土)

【集合・受付】13:00～【開始】14:00【終了】16:00

※雨天の場合は、21日(土)に延期

【場 所】謎の地下神殿(福岡市博多区山王1-9)

【参加条件】小学生とその保護者 ※応募多数の場合は抽選となります。

※小学生1名につき、保護者(成人)1名が必ず同伴してください。

【応募方法】公式HPの応募フォームからお申し込みください

【応募期間】平成27年2月1日(日)～2月28日(土)

【公式HP】<http://tsutaerudoboku.jimdo.com/>

【問 合 せ】092-732-3511(平日10:00～18:00)

キミは知っているか？
山王公園に眠る地下神殿を

この神殿は、ふくおかの人々のいのちを

何度もまもっているらしい

しかし、くわしいことは、だれも知らない…

ついに、ナゾが明かされる時がきた

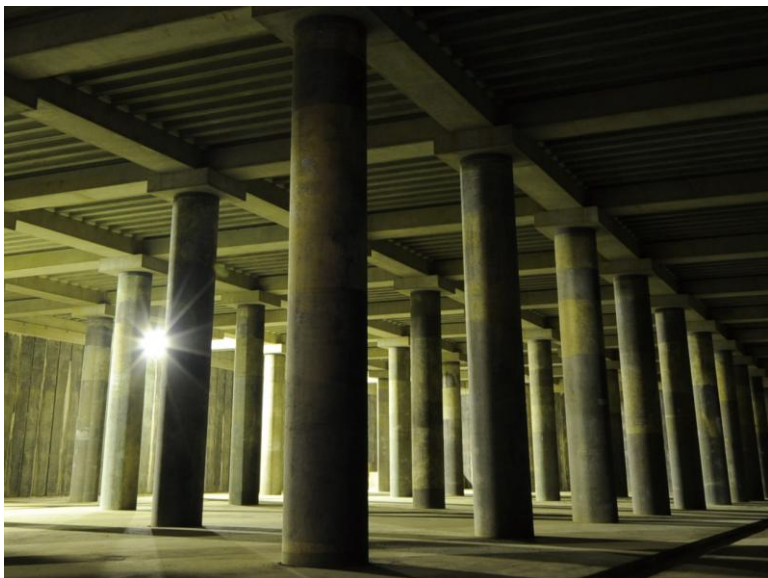
それを知ることができるのは、たった50名のキミたちだけ

このまちをまもりたいと思う、キミの参加を待っている!!

潜入せよ！

いのちをまもる謎の地下神殿

- 平成27年3月14日(土)開催
 - 平成26年度「支部活性化のための新規事業」
- 山王公園(福岡市博多区)の地下にある雨水調整池を「地下神殿」に見立て、神殿内で様々な体験イベントを実施
- 対象は小学生とその保護者50組、計100名



潜入せよ！いのちをまもる謎の地下神殿 イベント実施状況①



「地下神殿」への潜入
(山王2号雨水調整池の説明)

潜入せよ！いのちをまもる謎の地下神殿 イベント実施状況②



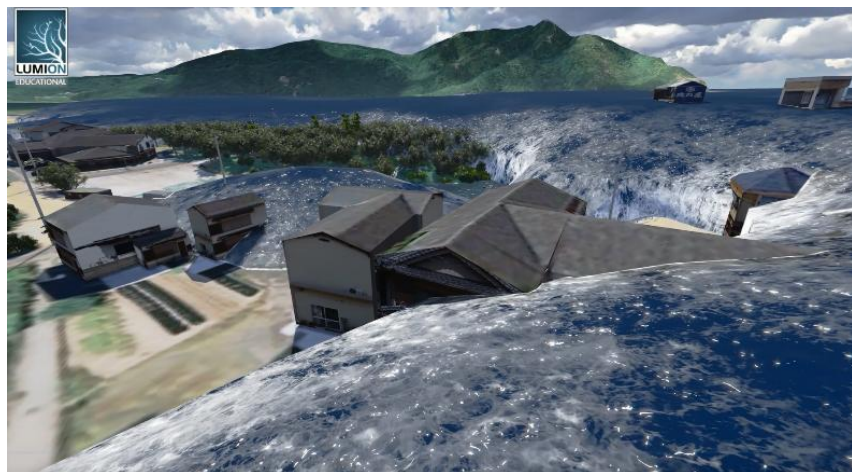
コンクリート板載荷体験
(無筋板、RC板、PC板)

潜入せよ！いのちをまもる謎の地下神殿 イベント実施状況③



速硬コンクリートによるモアイ像製作

潜入せよ！いのちをまもる謎の地下神殿 イベント実施状況④



3D映像による津波シミュレーション

潜入せよ！いのちをまもる謎の地下神殿 大きな反響

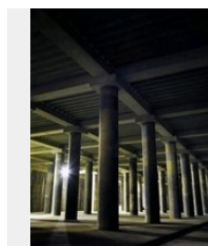
- 50組限定に**529組**の応募（応募倍率10.58倍）
- テレビ**6局**、新聞**4紙**の報道



公園に謎の地下神殿！？ 福岡

qBiz 西日本新聞経済電子版 2月10日(火)11時51分配信

[ツイート](#)



福岡市博多区の山王公園の地下。神殿のような空間は、市民生活を守る調整池だ（ソタエルドボク研究分科会提供）

ご存じだろうか？ 福岡市博多区の山王公園の地下に、まるで神殿のような異空間が存在することを。ゲリラ豪雨など都市災害の脅威から、市民の暮らしを守るために造られた調整池だ。普段は「関係者以外立ち入り禁止」の場所で3月14日、小学生を対象に見学会が開かれる。世界的に評価が高い日本の土木技術に触れてもらうのが狙いだ。

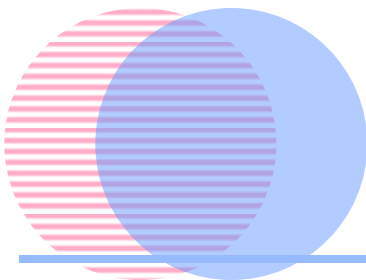
見学会は題して「潜入せよ！ いのちをまもる謎の地下神殿」。参加者はヘッドライトを着けて地下空間を目指す。水害のとき以外は空の調整池の容量は約1・5万トン。最大で25メートルプール約50杯分の雨水をためることができる。見学

会では、コンクリートの強度実験などにも挑戦する。





2. 開催したのは どんな人たちか？



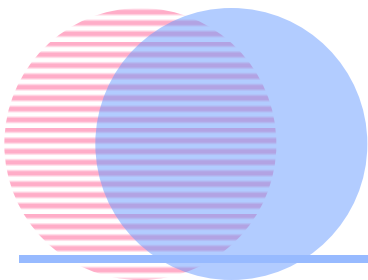
イベントを開催した人たち

- 「地下神殿」イベントは、土木学会西部支部と九州橋梁・構造工学会(KABSE)の共同開催

※KABSE : Kyushu Association for Bridge and Structural Engineering

主 催 : 公益社団法人 土木学会西部支部
共 催 : 一般社団法人 九州橋梁・構造工学会(KABSE)
後 援 : 福岡県、福岡市
協 力 : **KABSEツタエルドボク研究分科会**
鹿島建設株式会社、株式会社日本ピーエス
竹本油脂株式会社、株式会社特殊高所技術

ところで、「ツタエルドボク研究分科会」って何者？



ツタエルドボク研究分科会

- KABSE内の研究分科会で、平成25年に立ち上げ
- 土木技術者が誇りを持って、市民に対しその魅力や意義を「ツタエル」きっかけを創出し、「ツタエル」術(すべ)を学ぶ
- 産官学の土木技術者31名とツタエルプロ4名で構成
 - ツタエルプロ＝新聞記者、TV制作会社、広告代理店、ソーシャルプランナー
- 設置期間の2年で、7回の分科会と7回のイベントを開催
 - 土木学会西部支部と共催した「地下神殿」以外にも、土木および土木技術者の魅力を伝える様々なイベントを開催
 - 分科会イベントは気軽に参加できるよう「Café」と命名

ツタエルドボク Café

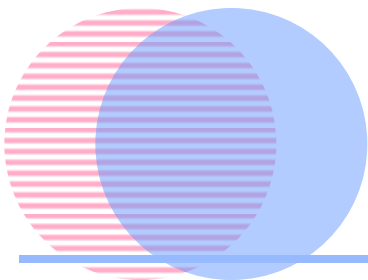
ツタエルドボクCafé

(西部支部・KABSE共催)

- 「地下神殿」イベントは、土木学会西部支部とKABSEの共催
 - 土木学会100周年の「支部活性化のための新規事業」として位置付けることで予算面の手当てがあり、イベント内容の充実が図れた



「地下神殿」参加者とスタッフ

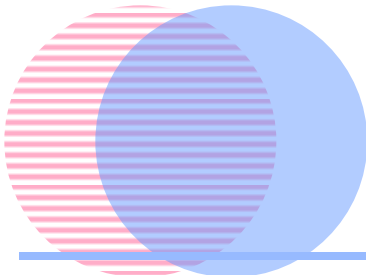


ツタエルドボクCafé (KABSE単独開催)

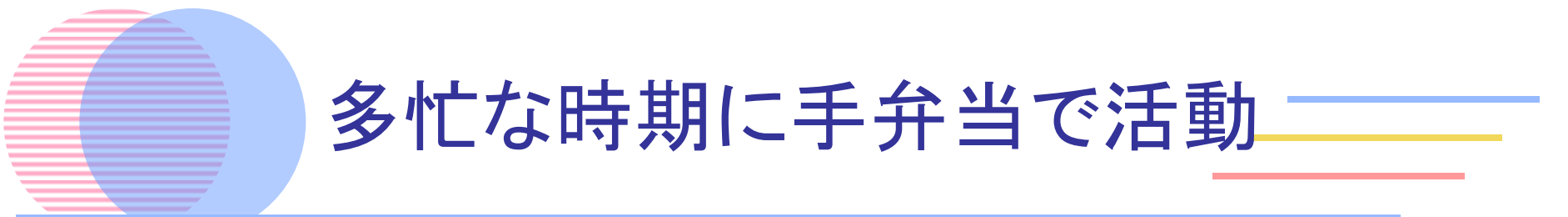
- 「地下神殿」以外にも、土木の魅力を伝えるイベントを開催



- (左上) 市民向け交流イベント
- (右上) 高校生と土木技術者の対談
- (左下) 市町村職員向け点検講習会



3. 活動の原動力は何か？



多忙な時期に手弁当で活動

- 「地下神殿」の開催は、業務多忙な年度末
 - 防災について考えるイベントのため、福岡県西方沖地震(H17.3.20)から10年の節目となる3月開催とした
- 準備は半年前から
 - 前年9月に地下調整池でのイベント開催決定。その後当日まで…
 - 複数回にわたる現地確認
 - 施設管理者との各種調整（雨天延期の判断基準、緊急時対応等）
 - 業務委託先との各種調整（PC工場、イベント会社等）
 - 報道機関への内容説明、ラジオ番組出演による情報提供
 - 3日前～前日のリハーサル
- 土木技術者及び「ツタエルプロ」は、すべて手弁当で活動



活動の原動力は何か？

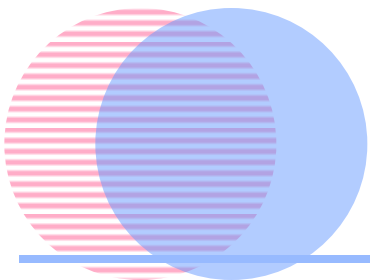
- ツタエルドボク研究分科会の主体は20代後半～40代後半。本業に忙殺される世代が、**なぜそこまで活動できるのか？**



- ツタエルドボク研究分科会の主査及び若手会員に、**分科会活動の原動力**についてヒアリング



- 今後、**土木学会の若手会員および学会全体のパワーアップ**に結び付けられないか？



ツタエルドボク研究分科会 主査と若手会員

- 主査 : 片山 英資 (かたやま えいすけ) 氏
 - 福岡北九州高速道路公社 企画部 調査役 (償還計画担当)
 - 福岡スマートドライバー代表
 - (株)オリエンタルコンサルタンツより現職



- 若手会員 : M氏
 - 西日本高速道路株式会社の新入社員 (当時)
 - 土木職の女性 = ドボジョ
 - 福岡北九州高速道路公社の知り合いに勧められ参加

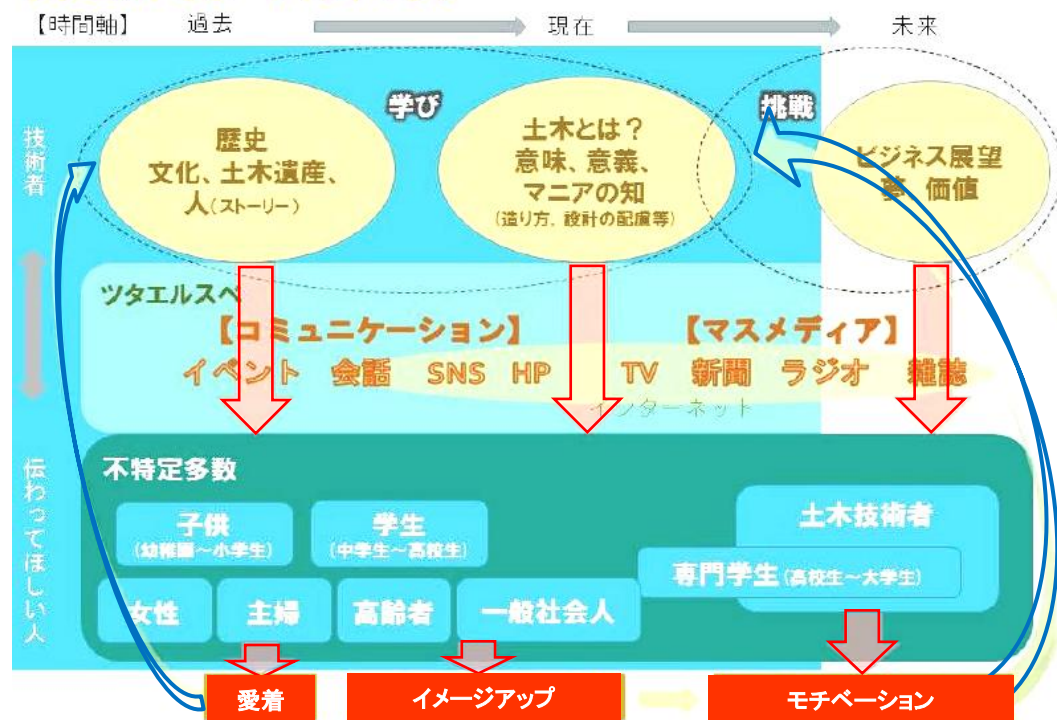


活動の原動力①

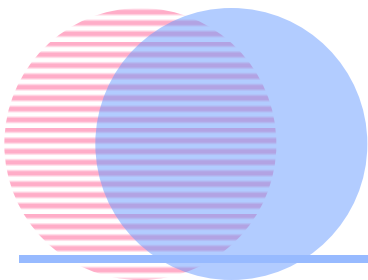
モチベーション向上

- 土木技術者が土木について「ツタエル」ことで、相手に土木への愛着を持ってもらい、土木のイメージアップにつなげる
- 土木に対する愛着・イメージアップにより、**土木技術者自身のモチベーションも向上する**

ツタエルドボク マインドマップ



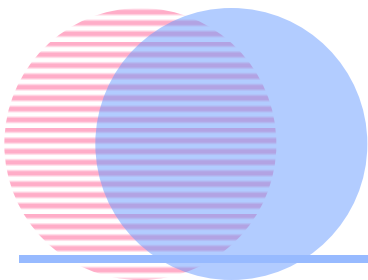
ツタエルドボク マインドマップ
(KABSEツタエルドボク研究分科会作成)



活動の原動力②

分科会活動を「楽しむ」

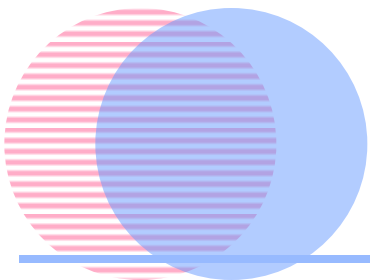
- 委員自らが企画・運営を行う**自由度の高い活動**
 - 本業の片手間でやる分科会活動は、効率重視で結論ありきになりがち
 - しかし、それではクリエイティビティが低下し、楽しくない
 - 本分科会では、土木について「ツタエル」イベントであれば、自由に企画・運営することが可能
- 少人数のWG活動で、**活躍の機会と成功体験**を提供
 - 分科会を5つのワーキンググループ(WG)に分割することで、各委員にWG内で活躍の機会が存在
 - WGごとにイベントを企画・運営し、他のWGメンバーがスタッフとして協力することで、多くのメンバーが成功体験を共有可能
 - 「先に実施したイベントより完成度を高めたい」というWG間の競争意識により、活動が更に活性化



活動の原動力③

社外との交流

- 若手会員には、分科会活動での**社外との交流**自体が楽しい
 - 本業が多忙のため、社外での人脈形成が困難
 - 分科会活動に参加することで、考え方の異なる社外の方との交流が可能
- 本業に直接関連する活動ではないため、参加する際には上司の理解が不可欠
 - 分科会活動に合わせた休暇取得は、業務上困難な場合あり
 - 上司から「〇〇学会の活動なら是非行って来い！」と言われるようなブランド化が必要？

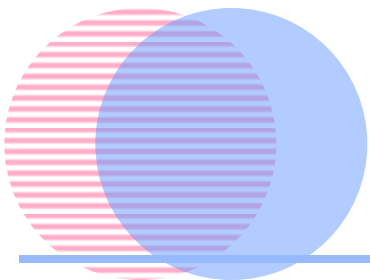


活動の原動力 まとめ

- 土木技術者のモチベーション向上
 - 活動を通した土木への愛着・イメージアップ向上により、技術者にもメリット
- 楽しめる活動
 - 活動内容を自由に決められる
 - メンバーに活躍の機会があり、成功体験が得られる
- 社外との交流
 - 本業では出会えない方と交流し、人脈を構築できる



土木学会のパワーアップにも
役立てられる内容！



ご清聴ありがとうございました！